

●人生にかかるお金はどのくらい？

前号では、ライフプランを立てて将来の準備を始めることで、漠然とした不安の軽減に繋がることをご紹介しました。

人生においては、就職、結婚、出産など、大きなイベントが発生します。特に「子どもの教育費」「住宅購入費」「老後の生活費」は人生の三大支出といわれていますが、どのくらい費用がかかるのでしょうか？ 例を見てみましょう。

【子どもの教育費（例）】

高校まで					大学		
				万円		万円	
幼稚園	小学校	中学校	高校	総額		自宅生	自宅外生
私立	公立	公立	公立	600	国立	600	900
私立	公立	公立	私立	800	私立文系	700	1,100
私立	私立	私立	私立	1,800	私立理系	900	1,200

【住宅購入費（例）】

注文住宅（三大都市圏）	約5,400万円	分譲戸建て住宅	約3,800万円	中古戸建住宅	約2,900万円
注文住宅（全国）	約4,600万円	分譲マンション	約4,600万円	中古マンション	約2,300万円

【老後の費用（例）】

老後の生活費（毎月最低どれくらい必要と思うか、世帯主の年齢60歳以上の回答）	… 32万円
国民年金（1人、満額）	… 6.5万円/月
<参考>年金支給時に最低準備しておけばよいと考える金融資産残高	… 2,021万円



老後の生活費に1か月32万円かかるとして、6.5万円/月が年金で支給されるなら、 $(32-6.5) \times 12$ か月 = **約306万円/年**を自分で用意するのか。いつから準備すれば間に合うかな？

●準備は長期的に考えましょう

自分が思い描くライフプランを実現するためには、資金が必要です。また、普段から貯えをしておけば、不測の事態が起こっても安心です。

しかし、短期間で大きな金額を準備することは難しいため、NISAなど資産形成に有利な制度を活用しながら、長期的な視点で準備していくことが求められます。

知人から「すぐに稼げる」と儲け話を紹介され始めてみたけれど、逆に損をしてしまった…ということがないように、計画的に準備を考えていきましょう。